

(様式 1-5) 西会津町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和 7 年 10 月 16 日時点

※本様式は 1-3, 1-4 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	台湾インバウンドに向けた地域の魅力発信事業	事業番号	A-1
事業実施主体		西会津町	総交付対象事業費	22, 121 千円	
既配分額		11, 891 千円	当該年度交付対象事業費	(当初 10, 230) 10, 073 千円	
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業①情報					
①情報発信事業				小計 10, 073 千円	
i) 風評動向調査				千円	
ii) 体験等企画実施				(当初 10, 230) 10, 073 千円	
iii) 情報発信コンテンツ作成				千円	
iv) ポータルサイト構築				千円	
②外部人材活用				小計 千円	
i) 企画立案のための外部人材の活用				千円	
ii) 地域の語り部の育成				千円	
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修				千円	
風評の払拭に関する目標					
令和 5 年度における本町へのインバウンド宿泊客数は約 200 名で、うちほぼ 100%が台湾からの状況であった。そのため、特に台湾に向けた魅力発信を行い、令和 7 年度事業終了時点で 400 名の創客を目指す。					
事業概要					
事業実施主体		西会津町			
主な企画内容		台湾でのトップセールス及び本町PRイベントの実施 台湾旅行会社へ訪問・ツアー誘致の実現性についてヒアリング 台湾インフルエンサーの招聘 本町を目的地とした旅行商品の開発 FIT をターゲットとした情報発信 台湾向け観光マップの制作 町内観光施設インバウンド受入体制支援			
主な事業の実施場所		西会津町、台湾台北市・台南市・高雄市			
事業の実施期間		令和 6 年度～令和 7 年度			
企画内容					
【現状・課題】					
<現状>					
震災以降、新潟県と接するほど福島県内でも西の端に位置する当地についても、「福島」という括りに属してしまうため観光、物産ともに需要が減少した。					
そのような中で、台湾との間で積み重ねてきた文化交流を機に昨年令和 5 年度には台湾から約 200 名の宿泊客を迎えることができ、本町の観光産業への好影響があった。					
福島空港には本年 3 月からタイガーエアのチャーター便が運航し、今後の定期便化によりますます台湾からのインバウンドに期待を持てる状況にある。					
<課題>					
本町は中山間地であるため、風光明媚な景色と福島県の中でも有数の米が美味しく育つ環境がある。また江戸時代から続く宿場町「野沢宿」は昔の趣をまだ残しており、東南アジアからのインバウンドが求めるような環境・文化・歴史は揃っている。しかしながら、販売する特産品や観光体験コンテンツの認知度が低く、対外的に発信・PR を積極的に行えておらず、もとより地域内の海外からの観光客を受け入れる体制が整っていない。					

【課題に対するこれまでの取組と成果等】

＜課題に対するこれまでの取組＞

令和 6 年 12 月末現在において、「台湾でのトップセールス及び本町 PR イベントの実施」、「台湾旅行会社へ訪問・ツアー誘致の実現性についてヒアリング」及び「台湾インフルエンサーの招聘」を実施した。

また、令和 6 年度は、「本町を目的地とした旅行商品の開発」、「FIT^(※)をターゲットとした情報発信」を実施予定。

＜これまでの取組における成果＞

- ・台湾台北市において本町 PR イベントを開催し、イベントへの参加者が 80 人であり、参加者へのアンケート結果で好印象が 8 割。
- ・台湾旅行会社への訪問・ツアー誘致の実現性についてヒアリングを実施し、台北市内 10 社から各社の顧客の需要動向と本町コンテンツについての興味関心について、情報の抽出を行うことができた。
- ・台湾インフルエンサー（2 名、いずれもフォロワー数 10 万人以上）が SNS により、来町時の本町の情報を発信した。

＜目標達成状況＞

- ・観光客入込数（大山祇神社、温泉健康保養センター、道の駅） R6.9 末時点において 52 万人を達成 R6: 町商工観光課調べ

【今年度事業における具体的な取組内容】

1. 台湾での西会津 PR イベントの実施

実施期間：令和 7 年 11 月下旬

実施体制：運営 委託先、台湾現地エージェント、町商工観光課、町内観光関係団体
ゲスト 台湾インフルエンサー（2 名想定）

実施場所：台湾台南市内

概算費用：7,056 千円

実施内容：観光で本町に来てもらうことで、復興の現状を知ってもらうため、これまで交流を深めてきた台南市においてイベントスペースを借上げ、1 回実施し、パンフレット等を来場者全員に配布する。ターゲットは、これまでの親交の深い関係者のネットワークを活用しこれまで交流を深めてきた方々、さらにインフルエンサーの情報に関心の高い方々を集客し、本町を PR するイベント『「日本の田舎、西会津町。」ナイト in 台湾 vol.2（仮称）』を開催する。

- ・参加者 約 60 名（事前申し込み制）
- ・開催告知 ゲストの台湾インフルエンサー（2 名想定）の SNS 投稿、台湾の日本観光関連企業への情報伝達
- ・開催場所 台南市内イベントスペース（未定）
- ・内容
 - 福島県及び本町の復興の現状の紹介
 - 本町の紹介（町内の地域団体にて実施）
表参道・西会津お米ナイトで使用した投影資料を使用し、同時通訳をして来場者へ説明する。
 - ゲストの台湾インフルエンサーによるトークショー
インフルエンサーに来場してもらい、本町に対する感じたこと感動したことを話し合う。
 - 西会津「食」の試食会
米、酒、米粉商品などふるさと納税でも人気の西会津の産品を来場者に振舞う。
 - 本町の魅力度と福島風評に関するアンケート
来場者全員へイベントの感想を問うとともに風評に関するアンケートを行う。
※アンケートに答えた来場者には本町のお土産「赤べこ」をプレゼントする。（1,000 円程度）

2. 台湾旅行会社へ訪問

実施期間：令和 7 年 11 月下旬

実施体制：計画・実施＞委託先 4 名

商工観光課担当職員 2 名、町内観光関係者 1 名、町内事業者 1 名

訪問先 ＞台湾現地旅行会社 10 社以上を想定

実施場所：台湾台北市・台南市・高雄市

概算費用：※事業 1「台湾での西会津 PR イベントの実施」計上費用に含む

実施内容：観光で本町に来てもらうことで、復興の現状を知ってもらうため、今年度は前年度の事業においてインバウンド観光資源として可能性を感じたコンテンツの情報を、一般団体旅行、インセンティブツアー、教育旅行とどの分野にも提案ができるように観光タリフを用意し、具体的

な提案によりインバウンドに直結する商談を行う。また後述している観光マップも台湾人向けに作成したものの提供する。

今年度については商談の意味合いの訪問をし、前年度、訪問し興味関心を持ってもらった台北市の旅行会社と今回は新規に台南市及び高雄市の旅行会社も訪問する。

3. 台湾インバウンドキーマンの招聘

実施期間：令和8年2月上旬に1回、3泊4日予定

実施体制：運営＞委託先

ゲスト＞台湾インバウンドキーマン2名

実施場所：西会津町内

概算費用：1,505千円

実施内容：実際に現地で本町が想定するツアー内容を体験してもらうことで復興の現状を知ってもらい台湾でのツアー造成を行ってもらうことを目的として、3泊4日の予定で、台湾で今後の創客に期待をもてる人物をキーマンとして招聘し、そのときにしか見ることができない景色や空気を体感してもらい、これまで開発してきた特産品の商品を飲食してもらったり、体験観光商材を実際に体験してもらったり、団体旅行や教育旅行の創客増の足がかりとする。

4. 町内観光施設インバウンド受入体制支援

実施期間：令和7年11月下旬

実施体制：実施＞委託先

対象＞西会津町内の飲食・観光事業者でインバウンド受け入れを希望する事業者

実施場所：西会津町内

概算費用：920千円

実施内容：町内において、インバウンド受け入れを希望する事業者向けにセミナーを開催し、外国人観光客との接し方・食事の制限、マナーのレクチャーや推奨される翻訳機の紹介などを行う。その上で対象となる町内事業者の外語対応マニュアルとメニューを各々作成する。

5. 台湾向け観光マップの制作

実施期間：令和7年7月上旬

実施体制：実施＞委託先

監督＞西会津町商工観光課

概算費用：152千円（△343千円 ※当初495千円）

実施内容：観光で本町に来てもらうことで、復興の現状を知ってもらうために、実際にツアーの造成を行う台湾旅行会社との商談に向けて台湾人向けの観光マップを作成する。現在、西会津町で使用されている観光マップのデザインをベースに一部、修正をして繁体字に翻訳したものを作成する。またその後、町内の前述したインバウンド受け入れに前向きな事業者に配布し、活用していただく。

6. インバウンド施策に対する可能性のとりまとめ

実施期間：令和8年3月上旬

実施体制：実施＞委託先

監督＞西会津町商工観光課

概算費用：254千円

実施内容：観光で本町に来てもらうことで、復興の現状を知ってもらうために、本事業で回収したアンケートやインフルエンサーが発信した内容へのリアクション、商談をする台湾旅行会社の反応を元にデータを分析し、報告書として取りまとめる。今後の本町におけるインバウンド施策がどのような方向性を取る必要があるのかを明確にして、次年度以降の取り組み内容の検討素材とする。

報告内容：事業実施報告

- ・インフルエンサーの発信内容、本町の感想・意見
- ・台湾でのイベントにおける参加者の属性、アンケート結果（観光・風評）
- ・台湾旅行会社へ訪問の反応・ツアー商品開発の意向
- 台湾から見た西会津町の観光ポテンシャル
- インバウンド増加に向けた必要事項と改善事項
- 他の地域と比較したときの優位点
- 本町におけるPR戦略

報告書ページ数：20ページ程度を想定。

7. 福島県主催「福島県台湾観光商談会」でのPR活動

実施期間：令和7年10月下旬（商談会は10月27日開催）

実施体制：計画・実施＞委託先 3 名

商工観光課担当職員 1 名、町内観光関係者 1 名、町内事業者 2 名

P R 先 > 台湾旅行会社 15 社以上

実施場所：福島県郡山市

概算費用：186 千円（+186 千円 ※当初 0 千円）

実施内容： 福島県は台湾からの訪日観光客誘客強化のため、台湾旅行会社を招聘し「福島県台湾観光商談会」を実施する。

この機会に本町も県と連携して参加し、昨年、台湾で訪問した旅行会社および本年に訪問予定のある旅行会社を中心に、町の概要や観光情報を記した資料とともに、道の駅や温泉宿泊施設・観光協会が提供するサービス等に関する観光タリフを作成し、町内事業者が直接台湾の旅行会社に具体的な提案を行う。

当該町内事業者はインバウンド商談会に不慣れなため、委託事業者が同行支援を行い、本商談会における成果をより確実なものとする。

【今年度事業における目標】

<アウトプット>

西会津紹介イベント「日本の田舎、西会津町。」ナイト in 台湾 vol. 2」の実施（台南市内）

観光タリフの作成 10 か所以上

台湾人向け観光マップの作成

町内事業者向けインバウンド受け入れセミナーの開催

台湾旅行会社の招聘

<アウトカム>

イベント参加者 60 名以上

インバウンド受け入れ可能事業者を 10 軒以上

台湾人向け観光マップを 1,000 部町内に配布

台湾人ツアーの商談を 10 回以上実施

令和 7 年度台湾人ツアーの誘致、3 件以上（100 名以上）

【今年度、事業の実施により得られる効果】

- ・国内でも評価の高い当地域で生産された米の P R とその加工品の台湾での流通の実現が期待できる。
- ・インバウンドの団体観光客が当地域を訪れることできるようなツアー商品の開発が期待できる。
- ・会津若松市まで来ている F I T ^(※) 受け入れの準備と F I T が当地域に訪訪してもらうための地域情報の発信・P R の体制が確立できる。
- ・今年度のインフルエンサーの意見や実施結果を踏まえ、町内を周遊する台湾人向けの観光マップ（夏編、冬編等）を制作・配布することで、集客の促進が期待できる。
- ・当地域では外国語対応に乏しいため、その先駆けとして道の駅にしあいづと町営温泉宿泊施設ロータスインにて、今回事業の受託業者による講習を開催し、インバウンドが受け入れ側に望むものをレクチャーして、受け入れの基礎を作ることにより、中華圏の観光客の増加が期待できる。

(※) Foreign Independent Tour の略。団体旅行やパッケージツアーを利用することなく個人で海外旅行に行くこと。